

平成24年度に建設工事で発生した事故事例（架空線損傷事故）

事故概要：

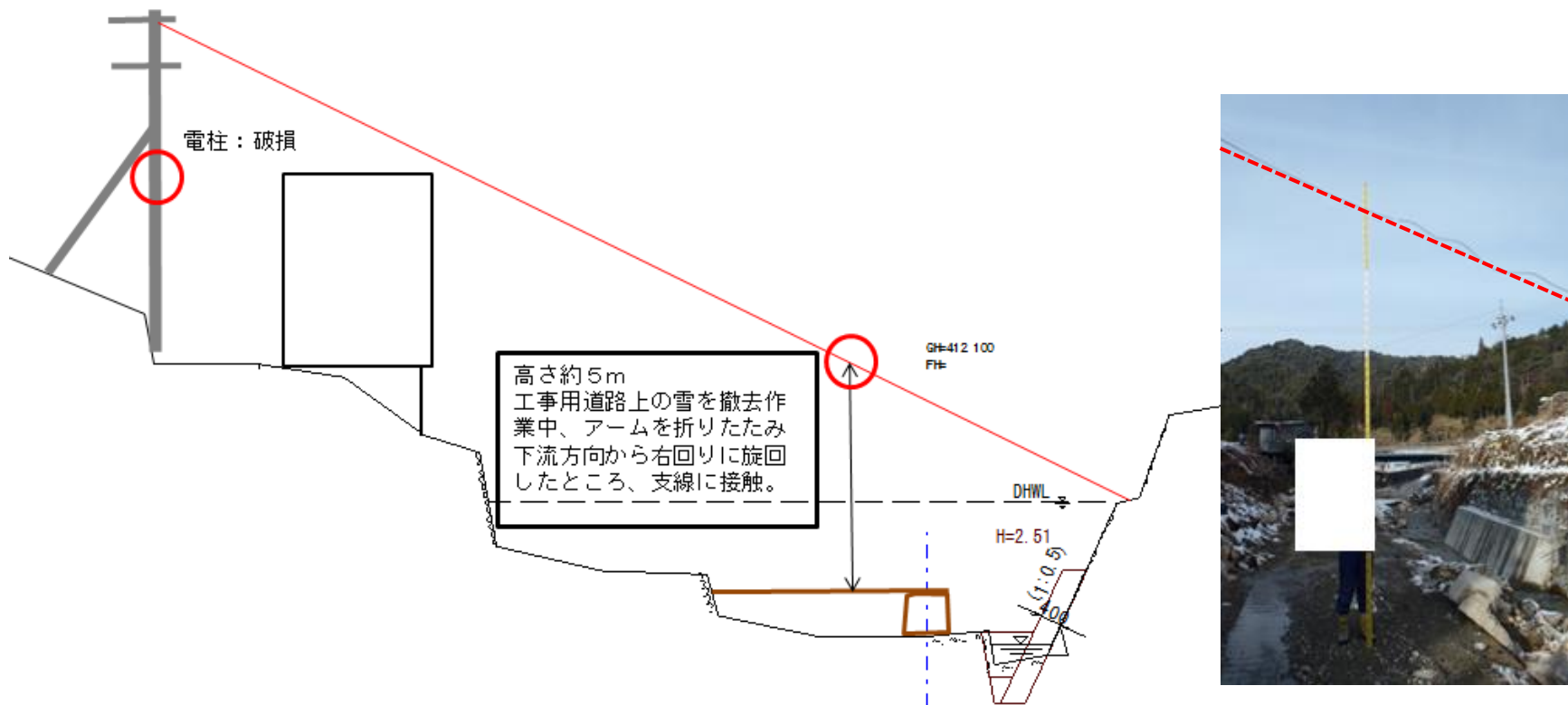
バックホウによる仮設作業道路の除雪作業中、後方を確認しようと旋回したところ、ブームを電柱支線に接触させ、電柱を折損した。

事故原因：

見張員や防護管設置等安全対策が実施されていなかった

改善対策：

安全対策実施の徹底



分類：除雪工、BH旋回

被害状況：電柱折損、通電に支障なし

平成29年度に建設工事で発生した事故事例（架空物損傷事故）

【事故概要】

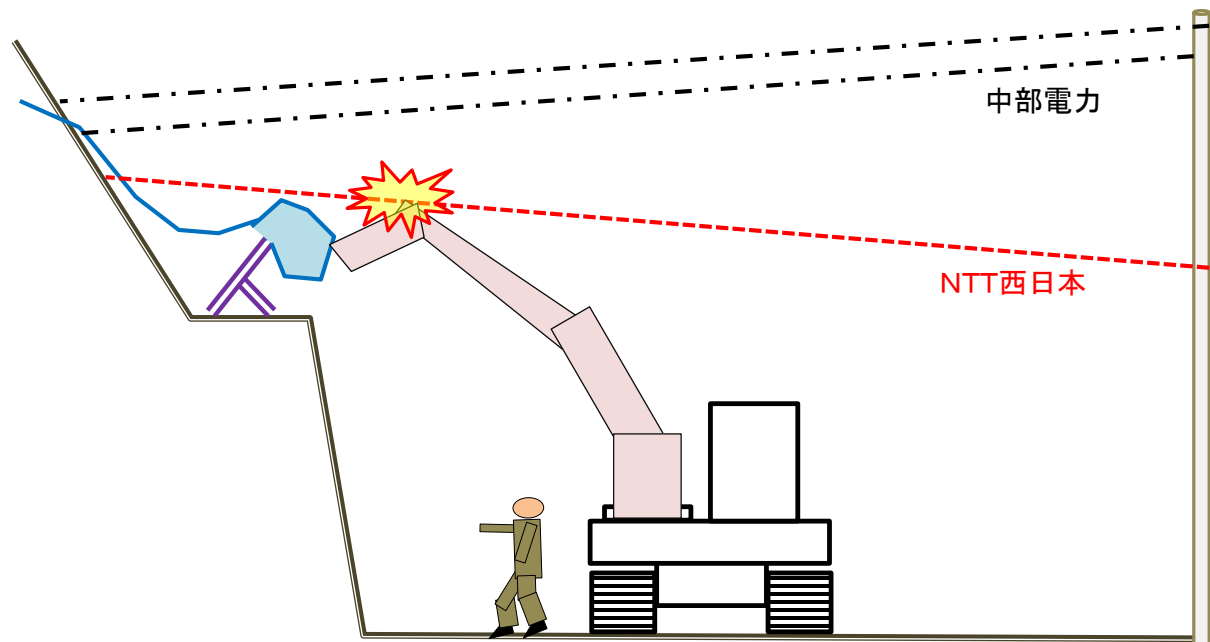
国道除雪作業において、雪庇除雪作業をBH0.50m3を使用し行っていた。道路反対側にあった電柱から道路上を横断する形で、地上約9m付近に2本(中部電力)、地上から約5m付近に1本(NTT西日本)の引張支線があった。監視員は、支線の存在をオペレーターに伝えていたが、オペレーターは上部の2本のみと思い込み、下部の引張支線を認識せず作業を行ったため、BHのバケットで断線した。

【事故原因】

・監視員が支線の設置状況をオペレーターに正確に伝えられず、オペレーターが全ての支線の存在を把握せず作業を行った

【改善対策】

・除雪区間の地図に作業注意箇所を明示し、作業打合せ時にオペレーター、監視員及び作業員に施設状況を伝え注意を促す
・毎月の安全訓練実施時に作業注意箇所について説明し確認する
・監視員を重機作業箇所に配置し、作業注意箇所をオペレーターに伝え、状況を実に把握しているかを確認して作業を行う
・監視員はオペレーターから見やすい位置で監視作業を行い、危険がある場合はホイッスルで速やかに警告する



【分類】 除雪工、BH旋回

【被害状況】 引張支線(NTT西日本)切断